

秘 伝 の 食 材

～ 輝 く 未 来 ～

テーマ設定

- テーマ：『家庭弁当の良さを取り入れた中学校給食の導入』
- 背景：京田辺市では中学校給食の導入を予定しているが、家庭弁当を支持する声が多数寄せられている

目次

1. 現状分析 1
2. 政策提言
3. 現状分析 2
4. 具体的な提案内容
5. 政策効果
6. 参考文献

現状分析 1 給食制度の導入



区分		学校 総数	実施率（学校数比）			
			計	完全給食	補食給食	ミルク給食
小学校	平成 30 年	19,635 校	99.1% (19,453 校)	98.5%	0.3%	0.3%
	平成 28 年	19,675 校	99.2% (19,510 校)	98.6%	0.3%	0.3%
中学校	平成 30 年	10,151 校	89.9% (9,122 校)	86.6%	0.4%	2.9%
	平成 28 年	10,108 校	89.0% (9,000 校)	83.9%	0.4%	4.8%

全国の小中学校における給食導入率

文部科学省学校給食実施状況について平成30年度（2018年度）調査結果より

給食と家庭弁当の比較

	家庭弁当	給食
メリット	<ul style="list-style-type: none">親子のコミュニケーションの機会につながる親への感謝の気持ちが芽生える個人の要望への対応が容易（アレルギー・好み・量など）	<ul style="list-style-type: none">親の負担軽減全生徒平等に栄養バランスの整ったものを提供できる食育の推進
デメリット	<ul style="list-style-type: none">親の負担が大きい栄養の偏り家庭によって差が生じる	<ul style="list-style-type: none">親子間のコミュニケーションがとりづらい個人の要望への対応が困難（アレルギー・好み・量など）

京田辺市中学校昼食等検討委員会より一部引用

親子のコミュニケーション

親子のコミュニケーションの重要性

子供の心の健康度に影響を及ぼす

* 心の健康

いきいきと自分らしく生きるための重要な条件



親子のコミュニケーションを図るために親子で参加できる政策

政策提言

親子丼プロジェクト

給食 × 食育



現状分析 2

様々な食育活動

「健やかで安心して暮らせるまち」

平成24年3月に 「健康増進計画・食育推進計画」 を策定



5年後の平成28年に市民意識調査

現状分析 2 京田辺市における食育活動

- 6月
食育月間・毎月19日を食育の日
- 毎月19日
(一休) にかけて京田辺観光大使の一休さんと管理栄養士が保育園や幼稚園に
- 小中学校栄養教諭の先生→給食の献立・食育の授業
- 年に一度薪(たきぎ)小学校の汐見先生が訪問し、食育の授業を行っている。

現状分析 2

中学三年生において

食育に関心がある人の割合
→半分に満たないどころか低下

	指標	対象	策定時	H28 目標	H28 現状値	H33 目標
栄養	地産地消の認知度	小学6年生	43.0	60以上	81.9	85以上
		中学3年生	42.1	60以上	75.8	85以上
		1～5歳児保護者	72.9	80以上	79.7	90以上
	嫌いな食べ物がない人の割合	小学6年生	12.9	20以上	13.6	25以上
		中学3年生	23.1	35以上	15.1	45以上
	食育に関心がある人の割合	小学6年生	42.1	60以上	57.3	80以上
		中学3年生	48.0	70以上	44.0	90以上
		1～5歳児保護者	86.2	90以上	91.0	95以上

平成28年度京田辺市健康増進計画・食育推進計画中間報告書より一部引用

具体的な提案内容

夏休みの宿題として食育を学ぶことを課す。



親と一緒に買い物に行く。
実際に作ったものを写真を撮って提出する。



優秀な作品のメニューが給食のメニューに。

親子丼プロジェクト

●夏休み期間中週に1回公民館で食育に関する講座を開く

• 管理栄養士による講演、農家の人による野菜の紹介

• 親と子どもで一緒に来てもらい、食育について学んでもらう



市 × 農家 × 親 × 子の協働

具体的な提案内容

夏休みの宿題として食育を学ぶことを課す。

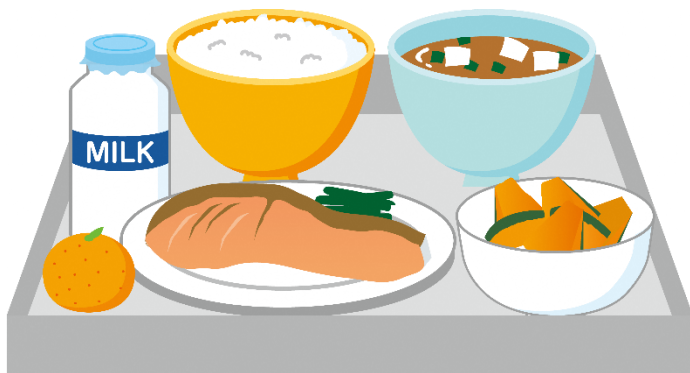


親と一緒に買い物に行く。
実際に作ったものを写真を撮って提出する。



優秀な作品のメニューが給食のメニューに。

具体例



メニュー名

名前 ()

京田辺産の食材

栄養素

費用

こだわりポイント

感想

親子丼プロジェクト

●親と買い物に行く

- ・手軽さや頻度の高さから

●実際に作ったものを写真撮って提出する。

- ・親とコミュニケーションをとりながら一緒に料理を作ってもらおう。
- ・毎日弁当を作ってくれている親の苦勞、負担を知ってもらおう

中学生の「心の健康度」に影響を及ぼす親子のコミュニケーション頻度

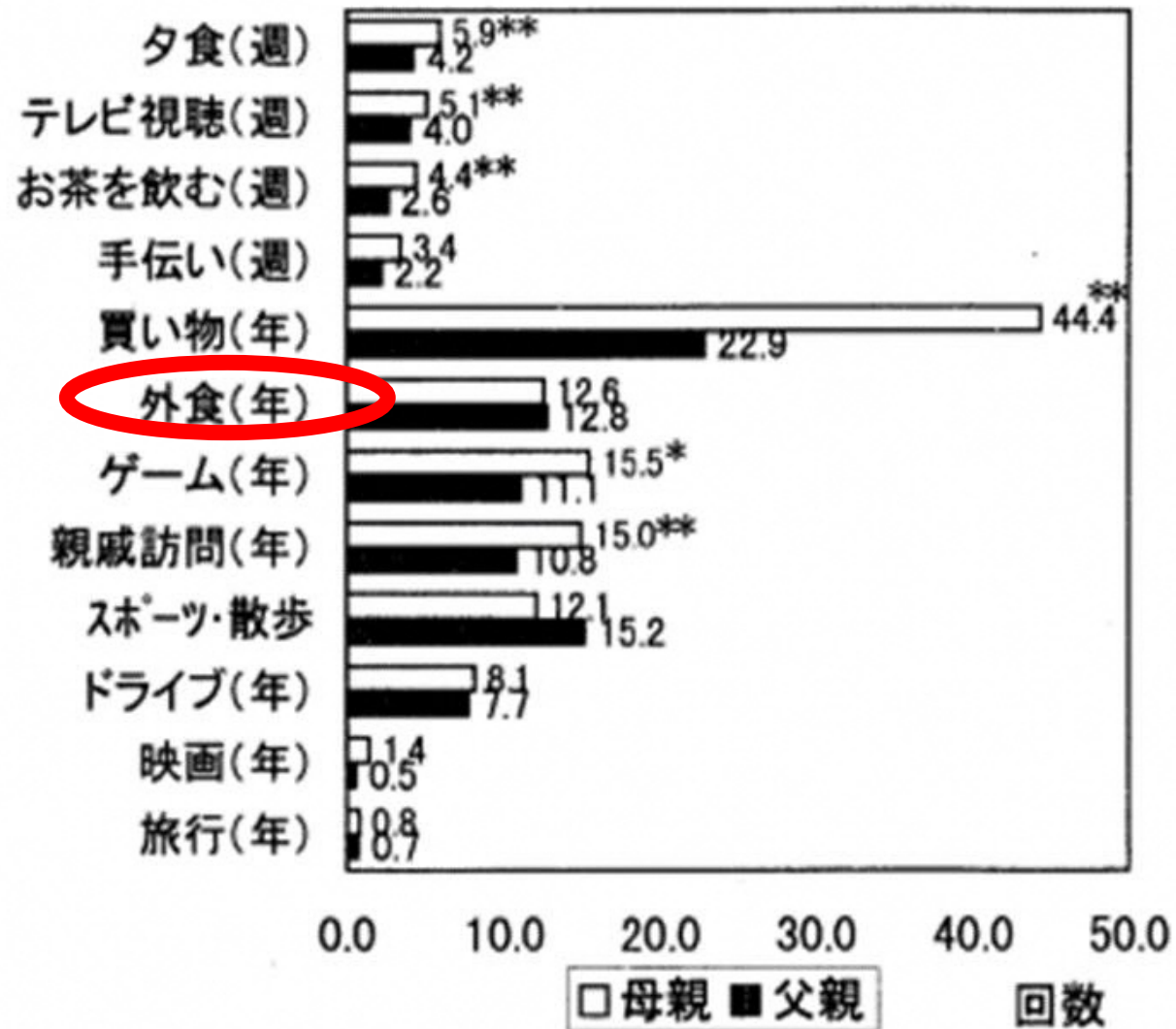


図5. 家族の共同行動の頻度

日本家政会誌Vol51 No.4 273~286 (2000)

親子のコミュニケーションが中学生の「心の健康度」に及ぼす影響より一部引用

親子丼プロジェクト

●親と買い物に行く

- ・手軽さや頻度の高さから

●実際に作ったものを写真撮って提出する。

- ・親とコミュニケーションをとりながら一緒に料理を作ってもらおう。
- ・毎日弁当を作ってくれている親の苦勞、負担を知ってもらおう

具体的な提案内容

夏休みの宿題として食育を学ぶことを課す。



親と一緒に買い物に行く。
実際に作ったものを写真を撮って提出する。



優秀な作品のメニューが給食のメニューに。

親子丼プロジェクト

●優秀なメニューは給食のメニューに

- できるだけ安く、栄養バランスがとれており、なによりおいしいもの。
- 子どもの食べたいものを給食で出す。
- 自分が食べるものを自分で決める。
→課題へのモチベーションの向上にもつながる

給食と家庭弁当の比較

	家庭弁当	給食
メリット	<ul style="list-style-type: none">親子のコミュニケーションの機会につながる親への感謝の気持ちが芽生える個人の要望への対応が容易（アレルギー・好み・量など）	<ul style="list-style-type: none">親の負担軽減全生徒平等に栄養バランスの整ったものを提供できる食育の推進
デメリット	<ul style="list-style-type: none">親の負担が大きい栄養の偏り家庭によって差が生じる	<ul style="list-style-type: none">親子間のコミュニケーションがとりづらい個人の要望への対応が困難（アレルギー・好み・量など）

京田辺市中学校昼食等検討委員会より一部引用

親子のコミュニケーション

親子丼プロジェクト

●優秀なメニューは給食のメニューに

- できるだけ安く、栄養バランスがとれており、なによりおいしいもの。
- 子どもの食べたいものを給食で出す。
- 自分が食べるものを自分で決める。
→課題へのモチベーションの向上にもつながる

給食を導入すると

親子間のコミュニケーションが減少する。

↑対策案になり得る

親子丼プロジェクト



親子丼に必要な食材とは

京田辺市の人々

政策効果

親子のコミュニケーションが増える

→給食導入の円滑化と子供の精神的・身体的健康につながる

食育への関心が高まる

→家庭を持ったとき自分の子どもへの食育につながる。

子どもが健康に育つ→子どもが輝く未来を作ることにつながる。

だけでなく

子どもが輝く未来のバトンをも作ることができる。

参考文献

京田辺市中学校給食実施の基本方針 平成30年5月21日 京田辺市教育委員会決定

<https://www.kyotanabe.jp/cmsfiles/contents/0000012/12408/kihonn.pdf>

京田辺市中学校昼食等検討委員会 報告書

http://www.kyotanabe.ed.jp/nc24/g_kankyo/htdocs/files/?action=cabinet_action_main_download&block_id=18&room_id=1&cabinet_id=1&file_id=166&upload_id=175

親子のコミュニケーションが中学生の「心の健康度」に及ぼす影響
小西史子, 黒川衣代* 日本家政学会誌Vol.51 No.4 273~286 (2000)

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jhej1987/51/4/51_4_273/pdf/-char/ja

京田辺市健康増進計画食育推進計画中間評価報告書

[http://www.kyotanabe.jp/cmsfiles/contents/0000010/10952/tyuukanhoukoku\(gaiyou\).pdf](http://www.kyotanabe.jp/cmsfiles/contents/0000010/10952/tyuukanhoukoku(gaiyou).pdf)

学校給食負担率は95.2%...小中学校の平均月額、保護者負担が微増

<https://search.yahoo.co.jp/amp/s/s.resemom.jp/article/2019/02/27/49345.asp.html%3Fusqp%3Dmq331AQNKAGYAa3Tmp2j7vzwCQ%253D%253D>

厚生労働省 休養・こころの健康

https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/b3.html

ご清聴ありがとうございました